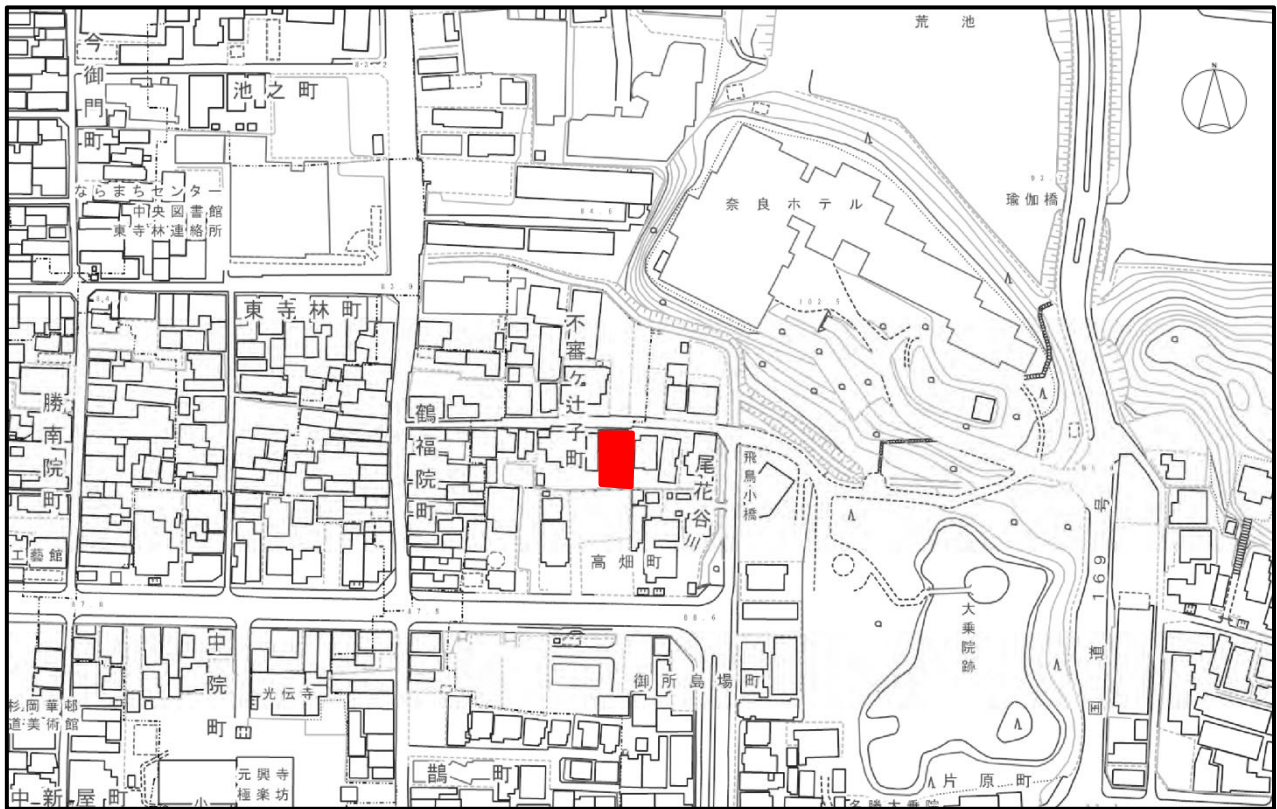


歴史的風致形成建造物 指定台帳（抜粋）

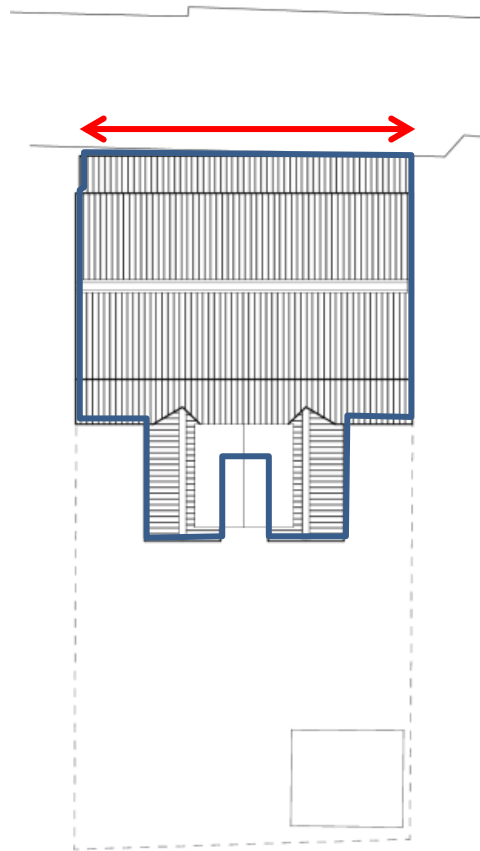
指定番号	14	名称	ギャラリー&ポストカード 藤影堂	
指定年月日	H31.3.26	所在地 (指定地)	奈良市不審ヶ辻子町 11 番地 3	
指定建造物	主屋	建築年代・概要	大正初期	木造二階建、切妻造、平入、棧瓦葺
位置 ・ 歴史	<p>この地は奈良町の中心部、興福寺と元興寺の間の鶴福院町の東に位置する。古くは不思議之辻子等と云われた路地で、北東に奈良ホテルがあり、奈良公園に程近い地区である。</p> <p>当家は、明治後期まで橋本町で旅館を営んでいた現所有者の曾祖父・藤田嘉平治が、大正初期に橋本町から建物を移築し現在地に移ったと伝わる。嘉平治の長男博介の代には、郷土史の出版活動をする「大和史蹟研究会」及び絵はがきの卸売業を営む「藤影堂」の事務所兼住居として使用され、その後は、家族の住居として使用された。下宿人を受け入れた時期もあったというが、近年はしばらく空き家となっている。</p>			
建物特徴 ・ 改修履歴	<p>東西通りに北面して建つ主屋は、間口の広い木造二階建てで、正面一階は奥行一間弱の下屋がつき、建物両端に大きな出格子窓が、戸口の西側に小さな出格子窓が入る。正面二階は板壁で、当初の状態かは不明であるが、一般的な町家と異なる外観を持つ。戸口周辺の痕跡や平面構成から、当初は二戸一の建物だったことがわかっており、移築の伝えは古材の再用程度かと思われる。建築後早い段階で一戸に改造されたと推定される。</p> <p>内部は、元事務室、台所、渡廊下などに改造が見られるが、全体的に保存状態が良く、個室が取れる間取り、廊下や階段の配置、釣床の多さなど、一般的な町家には見られない特徴が見られる。また、一戸への改造は造りが丁寧で、細部の装飾などに近代的な意匠が残っている。</p> <p>改修) 建築後まもなく二戸一から戸建に改造。昭和 30 年代に、キッチン・台所を整備。その後、屋根葺替を実施。昭和 50 年代に風呂を改造、同時期にトイレを水洗化。平成 29 年に奈良市の「空き家・町家活用モデル事業」補助金を利用し、元事務室を床貼りから土間に改造。正面二階の格子は後の改造で、駒寄は戦後以降に高さを変更。</p> <p>平成 30 年度 屋根葺替。外壁塗替（一階モルタル塗→白漆喰塗）。</p>			
活用	<p>奈良を題材にした絵はがきやモノクロ写真のポストカードの販売、それらの原画や工芸品等を展示するギャラリーとして活用予定。また、元事務室を絵はがきが書けるスペースに改修し、新たな観光拠点として整備する予定。</p>			
価値	<p>奈良町の一般的な町家とは異なる独特な建物で、活用によって、奈良の名所探訪にみる歴史的風致の向上に寄与する。</p>			




歴史的風致形成建造物 指定台帳（抜粋）



付近見取図



-  該当建造物
-  公開範囲

配置図 